



Iwate Miyagi Fukushima

Niigata

Saga

Noto

3.11の 今がわかる会議 ②

東日本大震災から12年が経過しましたが、東北3県では災害・復興住宅への移転が概ね完了する一方で、少子高齢化・地域の担い手不足が進む地域コミュニティの意義が問われています。復興から平時へと移行するフェーズにおいて、どうすれば「おたがいさまの地域づくり」や「地域コミュニティの担い手づくり」ができるのか、東北3県のみならず、新潟県や佐賀県でも災害後の地域コミュニティづくりに人生をかける「おせっかい」な方々に登壇いただき、これからの地域コミュニティの可能性について一緒に探ります。あわせて、1月1日発災した能登半島地震についての報告や今後の地域コミュニティにおける課題についても一緒に考えます。

テーマ

地域コミュニティの可能性を探る!!

～東日本大震災・中越地震・佐賀豪雨・能登半島地震～

サブテーマ

おせっかいによる「おたがいさまの地域づくり」と「担い手づくり」を考える

開催日時

2024年3月12日(火)13時-16時

参加費
無料

- プログラム
- ① 開会挨拶・趣旨説明
 - ② 東北3県で活動する団体からの報告～おたがいさまの地域はどうすればつくりことができるのか～
 - ③ 新潟、佐賀で活動する団体からの報告～地域コミュニティの担い手を見つける方法～
 - ④ 能登半島地震の報告
 - ⑤ 全体ディスカッション～地域コミュニティは地域に住む人を幸せにできるのか～
 - ⑥ 閉会
- ▶ 登壇者は裏面を参照ください

■参加方法: オンライン(Zoom)による参加

■参加対象: 東日本大震災に関心のある方・地域コミュニティに関心のある方

■申込方法: QRコードもしくはURLからお申し込み

https://jpn-civil.net/2014/blog/2024/02/311_2025.html

■主催: 東日本大震災支援全国ネットワーク ■助成: 復興庁コーディネート事業

申込締切

2024年
3月10日(日)
23時59分

申込はこちら



東日本大震災支援
全国ネットワーク

登壇者

3.11の
つながる会議②

岩手県

佐々木 敦子 氏 NPO法人きょうせい大船渡 代表理事

東日本大震災を機に主婦が公益財団法人共生地域創造財団(支援団体)に入職。現在はNPO法人を立ち上げ「困ったときはおたがいさま」をモットーに。寂しい時、苦しい時に「助けて」と言えるそんな人と人のつながりを。誰もが

住み慣れた地域で元気で安全に暮らし続けることが出来る。そんな支え合いが張り巡らされた地域づくりを目指しています。未だ紆余曲折ですが、日々の反省や気づきがよりよい支援につながりますようにと。



宮城県

三浦 友幸 氏 一般社団法人プロジェクトリアス 代表理事

気仙沼市出身。2011年の震災により被災。避難所の事務局長を担う。その後、支援で被災地に入ったNGO団体の現地スタッフとして活動。その後地元のNPOに移籍し、まちづくり団体や支援団体の中間支援を行う。また、復興事業と

して行われていた防潮堤事業に対し、政策提言や地域の合意形成を行う。特に気仙沼市大谷海岸の砂浜を守るための計画変更に注力。現在は参加や協働のまちづくりを目指し、NPO活動を行いながら気仙沼市の議員を務める。



福島県

鵜沼 英政 氏 NPO法人みんぶく 事務局長

いわき市出身。2012年1月に東京からUターン。同年6月に設立された「みんぶく」で職員として働き始める。2015年12月に事務局長就任。現在は災害公営住宅のコミュニティ形成支援や、支援者ネットワークの運営などを担当。

また、みんぶくとしては福島県の委託事業で県内の復興公営住宅にコミュニティ交流員を配置している。2020年度から復興庁被災者支援コーディネート事業を実施している。



新潟県

鈴木 信之 氏 高根フロンティアクラブ 会長

1961年5月生まれ、新潟県村上市高根在住、地元高校卒業後東京に上京その後Uターン、測量士として働きながら1996年高根集落の活性化を目指して高根フロンティアクラブの立ち上げに関わり事務局として、廃校の利活用、企業のCSR活動、首都圏NPO活動の受け入れや交流イベントなどを行う。2009年から中間

支援団体NPO法人都岐沙羅パートナーズセンターで学校と地域を結ぶ地域活動コーディネーターとして活動。2016年より当クラブ会長。他にも一般社団法人高根コミュニティラボわあら 理事、村上岩船定住圏自立共生ビジョン審議委員長を務める。



佐賀県

鈴木 隆太 氏 一般社団法人おもやい 代表理事

愛知県名古屋市生まれ。阪神・淡路大震災を契機にボランティア活動を始め、その後、国内外の災害救援に携わる。新潟県中越地震や熊本地震の復興支援活動を経て、2009年に武雄市に移住。現在武内町で住職も務める。令和

元年8月の前線に伴う大雨で地元・武雄市が被災したことから、市民を中心に「一般社団法人おもやい」を立ち上げ、現在も被災された方々へのお手伝い、また日常的に生活にお困りの方への相談業務・食料配布などを行なっている。

